



天津 · 濱海新区



地理位置



発展の優位性



- ✓ 2006年5月26日、天津濱海新区が承認を受けて全国総合支援改革試験区となった
- ✓ 2014年12月、中国（天津）自由貿易試験区として承認された
- ✓ 2016年1月、承認を受けて国家自主革新モデル区となった

- ✓ 主な経済指標は19カ所の国家級新区の中で第2位をキープ
- ✓ 自由貿易試験区制度改革新指数は全国21カ所の自由貿易試験区の中で第3位をキープ

海港・空港

- ✓ コンテナ航路140本を確保
- ✓ 180カ国・地域以上の500余りの港口と運航関係を保つ
- ✓ 2022年に4.71億トンの貨物取扱量を実現
- ✓ コンテナ取扱量が2,100万TEUを突破
- ✓ 数年連続して世界港口トップ10に入選



- ✓ 180本の航路を開通し、132個の都市と通航可能
- ✓ 2019年に延べ2,381万人の航空輸送旅客数を実現
- ✓ 貨物・郵便物の取扱量が22.6万トン
- ✓ 濱海国際空港第3期改築・増築工事がすでに着工し、41万平方メートルのT3ターミナルを新規整備し、延べ5,500万人の年間航空輸送旅客数を保証可能

産業クラスター



✓ 12本の重点産業チェーンをめぐり、「1+3+4」のハイエンド化、スマート化、グリーン化の現代産業体系を構築する。

✓ 全区の一定規模以上の工業企業の総生産額が1.1万亿元を上回り、4つの千億元レベルの産業クラスターが形成し、77社の百億元レベルの企業が集まり、各種類の市場主体が計36.4万社に達した

新興業態



- ✓ ファイナンスリース会社の資産総額が1.9万億元を突破した世界第2位の大型飛行機のリース集積地となった
- ✓ ビジネスファクタリング資産規模が全国第1位
- ✓ 自動車の並行輸入規模が5年連続で国内第1位をキープし、全国同業務の全体規模の7割以上を占める

五大開発区

天津港保税區

計画面積は223.2平方キロメートルで、空港、海港、臨港の3つの区画からなっており、面積が全国2位である中国2番目の保税區であり、承認を受けた国家海洋經濟發展モデル區、国家級海洋設備革新型產業クラスターでもある

濱海ハイテク区

計画面積は約100平方キロメートルで、天津市の科学技術革新資源の重要な集積地として、現在「中国信創谷」（信創＝情報化応用イノベーション）と北京・天津・河北省の特色ある「細胞バレー」の整備に全力を尽くし、全国177カ所の国家級ハイテク区のうち19位をキープした



中国・シンガポール天津エコシティー

計画面積は100平方キロメートルで、中国・シンガポール政府間の重大協力プロジェクトに属し、世界初の国家間協力開発によるエコシティー、全国初の国家グリーン發展モデル區、国家文化輸出基地、国家基幹チェーン物流基地である

天津經濟技術開發区

計画面積は403平方キロメートルで、電子情報、自動車、石油化学工業、バイオ医薬品の4つの国家新型工業化産業モデル基地を保有し、第1陣の国家級双創モデル基地、国家デジタルサービス輸出基地である。同開發区の綜合發展レベルは全国の經濟開發区の第3位をキープした

東疆綜合保税區

計画面積は約31.34平方キロメートルで、主導的産業がファイナンスリース、港湾經濟、プラットフォーム經濟で、2年連続で全国「ダブルA」綜合保税區に選ばれ、うち「業態革新」指標は全国第2位をキープした

未来の発展



ジュリアード音楽学院



東疆砂濱



国家海洋博物館

濱海新区の質の高い発展の支援に関するけん引行動

重点整備プロジェクトを70件選り抜き、投資総額が9,680億元で、予備プロジェクトを48件企画し、投資総額が2,326億元に達する。

2027年までに、全区の地域GDPが9,000億元の大台を突破し、一定規模以上の工業企業の総生産額が1.5兆元に達することを目指す

濱海新区は、日系企業にとって重要な対中投資エリアであり、双方間における交流が広く、ビジネス協力が緊密である。これまでに、トヨタ自動車、明治乳業など、計1,161社の日系企業が新区で投資・開発を行い、累計投資額は142億ドルに達した。





ご清聴ありがとうございました

